

えひめの子どもたちへのメッセージ

～みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、確かな行動に表そう～



県内すべての小中学校をオンラインでつなぐ「えひめいじめSTOP!」デー。以前は、小中学校の代表者による「子ども会議」等を開催していましたが、コロナ禍で一か所に集まるのが困難になったため、オンライン形式での開催に変更したところ、全国でも類を見ない愛媛県ならではの取組として、小学6年生と中学1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達の個性や考えの違いを認めること」は、ライブ授業でもお話をあった「人とよりよく関わる方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんがいじめ問題に真剣に向き合っている大変心強く感じました。

3年目となる今年度は、「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」をテーマに、事前に配信したミニ動画や演劇による問題提起、リアルタイムでのアンケートなどを通して、熱心な議論が行われました。その中で意見として出された、「自分自身を見つめること」や「友達の個性や考えの違いを認めること」は、ライブ授業でもお話をあった「人とよりよく関わる方法」に通じるものであり、児童生徒の皆さんがいじめ問題に真剣に向き合っている大変心強く感じました。

「えひめいじめSTOP!」デーは、いじめ問題の解決に向けた一つのステップです。次のステップは、皆さんが、今後、確かな行動につなげていくことです。話し合いができたことを、日常の行動に表すことで、変化が生まれます。はじめの変化は小さくても、積み重ねていけば、必ずや大きな変革をもたらすことができます。いじめの起こりにくい学級・学校づくりに向け、皆さん一人ひとりが考え、実践してほしいと願っています。

保護者や地域の皆様、子どもたちが学校で安心して学べる環境をつくるためには、いじめ問題について当事者意識をもって考え、地域社会全体で人を尊重する精神の涵養や、いじめを見逃さない雰囲気醸成することが大切であると考えます。子どもたちの考えや意見を尊重しながら、豊かな感性を育み、見守り、支えていただきますようお願いいたします。

最後に、「えひめいじめSTOP!」デーの開催に当たり、ご理解とご協力をいただいた皆様に、心から感謝申し上げます。

愛媛県教育委員会
人権教育課
2024年(令和6年)
2月発行

えひめ愛顔の子ども新聞



小中学生 約23,000人が参加

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために

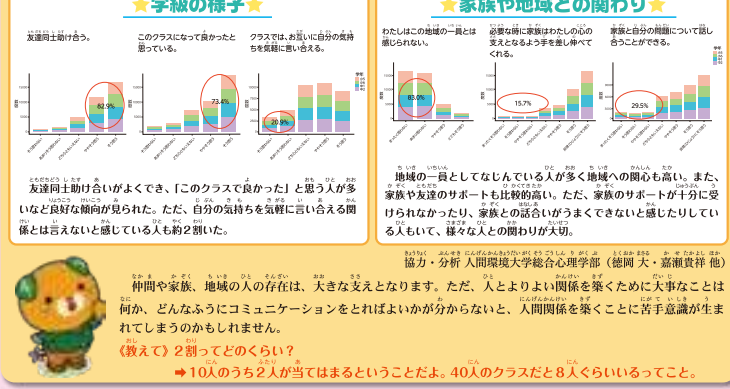
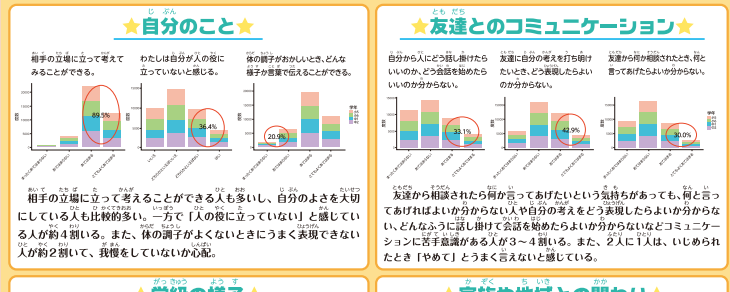
県内一斉ライブ授業 えひめいじめSTOP!」デー開催

令和5年11月16日(木)、宇和島市立南予文化会館をメイン会場に、県内すべての市町をオンラインでつなぐ一斉ライブ授業「えひめいじめSTOP!」デーが開催されました。小学校6年生と中学校1年生を中心に約23,000人が参加し、みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるためにはどうすればよいかについて話し合い、考えを深めました。

小5～中2のみんなに聞いてみた!

自分のこと・友達のこと・人とつながること

コロナ禍で遊びや学習に様々な制限があり、人と関わりが極端に少なくなりました。寂しい思いを経験した人も多かったことでしょう。そこで、今、小中学生のみんなは、周りの人との関わりについてどう感じているのか、それが心や体の健康とどうつながっているのかについて調べてみました(令和5年6～7月、県内の公立小中学生約44,000人を対象にアンケートを実施しました)。



ライブ授業前

6年生、ハイ!

授業中、急に明日の全校集会の司会進行を決めることに…みんなが嫌がる中、勇気を出して手を挙げたきょうか。最初は、みんなきょうかを否定するが、きょうかの頑張る姿にみんなの心が動かされていく…

リモート校

- 新居浜市立中萩小学校
- 上島町立岩城中学校
- 伊予市立北山崎小学校
- 松山市立余土中学校

サテライト校 408校

今年度はライブ授業の前後にミニ動画を見て、ご自身の生活を見直したり、クラスで話し合ったりしたよ。

考えるヒント

5分間のショートストーリー

- ①安心して過ごせる楽しい学校ってなに?
- ②お話ししよう
- ③いいことをすると楽しい

スペシャルゲスト あばれる君

小中学生の真剣な話し合いや、熱のこもった演劇を振り返りながら、「悩んでいるときには、友達に話すことで楽になることもある。気軽に話せる関係性をつくっておくことが大切」と、笑顔を交えて話し合いを盛り上げました。また、日頃の友人とのよりよい関係づくりについては、「自分に厳しくしすぎないといひ、そう考えることで自分は楽になった」と、自らの経験を交えて、子どもたちにエールを送りました。

ライブ授業後半

「みんなと違うな」と感じることに
「みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために」

- みんな何事もなげうに見えて、いろいろ悩みを抱えているんだ
- 感じ方・受け止め方は人によってそれぞれ違うんだ

「何か話すときには、相手のことを思いや手を掛ける」など、人とはそれぞれ違いがあることを知り、それを認めて行動することの大切さについて話し合いました。

進いを認め合い、自分の考えや気持ちを伝えていこう! 小さなことから始めよう! 自分にできることはきっとある!!

ライブ授業中にわだしのホンネ

みんなが安心して過ごせる学級・学校をつくるために必要なこと

- 話し合い「助けて」といっても発言できず、それをみんなで助け合える環境づくり
- 人を否定しないこと
- 正しいことをしている人を批判しない
- 自分を基準にして勝手に決めつけない
- みんながいじめのことについて理解する
- 相手からではなく、自分から変わる

先生方から

「えひめいじめSTOP!」デー後のみんなの様子について

- 「いじめSTOP!」宣言を掲げたり、校内放送で発信したりすることで、学級・学校全体の意識が向上している
- 「人じんじやないよ」関連でもだれもめめないよ」と声掛けするようになった
- 互いのよさを認め合い、話し合う言葉がけができるようになった
- 自分勝手な振る舞いが、周りの人に迷惑をかけていることに気付くようになった
- 全員が一斉に「いじめを許さない」「いじめが起こる雰囲気をつくらない」といった気持ちをもちあがってきた
- いじめ防止ポスターを作成したりという声があがり、作成している
- 学習発表会で同じテーマをすることにした

相談窓口

気軽に相談してね

いじめ相談ダイヤル24 SNS相談ほっとえひめ

中高生専用

学校で配られているチラシやしりおりの二次元コードから友達登録してね!

令和5年度 人権ポスター特選作品

人権尊重の意識を高めるためのポスター展

令和5年度は、小学校・中学校・高等学校等から計45,135点の作品が寄せられ、審査の結果、5点が特選作品として選ばれました。

「見えなからこそ 敬愛と愛を」

西条市立南予東中学校 3年 敬智 彩葉 さん

「お互いの見えなからこそ 敬愛と愛を」

「心を通わせて 個性を認め合おう」

八幡浜市立立戸岡小学校 6年 吉川 陸 さん

「人生 自分で」

愛媛県立今治高等学校 1年 木原 涼帆 さん

愛媛大学教育学部の学生の皆さんから

会場にいる人だけでなく、モニターの向こうにいる小中学生を見て一つのテーマについて考えている様子で印象的でした。「みんな安心して過ごすことのできる学級・学校」は、どの学校でも目指していきたいものだと思います。そのために、今回のライブ授業で出た意見一つ一つに取り組みことができれば、それは素晴らしいことだと思います。学びの場や方法も、自分たちで考えていきたいと思います。

ライブ授業後アンケート

「いじめSTOP!」デー後のアンケートに、たくさんの回答・意見が届けられました。

ライブ授業のあと、どのようなことに
気を付けて生活していますか。 ※複数回答

話をよく聞くこと	10,839
話をよく聞くこと	11,243
お互いを大切にすること	12,190
お互いを認め合うこと	10,955
失敗や苦しみはみんなと共有すること	9,685
その他	

すていね!

みんなも自分ができることから行動してみよう!